

2013年11月8日

クッシュマン・アンド・ウェイクフィールド

アジアのホテル投資額はリーマンショック後最高へ**―― ホテル市場年次レポート ――**

クッシュマン・アンド・ウェイクフィールド（米国・ニューヨーク 以下「C&W」）はこのたび、アジアのホテル市場に関する年次レポート「Hotel Views 2014 Asia Pacific」を公表しました。このレポートでは、アジアの23都市におけるホテル市場の現状分析と展望について以下のとおり述べています。

1. 2013年上期のアジアのホテル投資総額は51.6億米ドルに達し、前年同期比53%以上増加した。2013年通期では100～120億米ドルに達するとC&Wは予想する。これは2008年のリーマンショック・世界金融危機後の最高額となる。
2. アジアのほとんどの市場で2012年のRevPAR（注）は前年比上昇した。アジア全域で各国政府当局が空港・鉄道・港湾を強化し、都市の接続性やインフラを強化して観光部門を後押ししていることも一因である。

注：Revenue per Available Room 販売可能客室あたり売上高。ホテルの収益パフォーマンスを測る代表的な指標

3. 2012年のRevPAR上昇率トップ3はバンコク（19.3%）、香港（10.1%）、ジャカルタ（9.8%）だった。
4. 2013年上半期のRevPARも前年同期比8%増で推移した。しかし、一部地域での大量供給の影響によりアジア全体ではRevPARは年後半に低下し、2013年通期では前年以下になると予想される。
5. 今後2～3年で15,000室以上の客室が供給されるソウルを除けば2014年にはアジアのホテル市場のRevPARは総じて旺盛な観光需要に支えられ上昇に転じるとC&Wは予想する。
6. 東京はオリンピック開催都市に決定したことで、観光地として確立されたイメージはさらに強化される。中長期的に市場に好影響があるだろう。

以上

■レポートに関するお問い合わせ先

クッシュマン・アンド・ウェイクフィールド株式会社

バリュエーション・アンド・アドバイザリーチーム

高山博好 不動産鑑定士・MRICS（英国王立チャータード・サバイヤーズ協会会員）

Hiroyoshi.Takayama@ap.cushwake.com 03-3596-7055

ライス如美 不動産鑑定士・MRICS・米国不動産鑑定士

Naomi.Rice@ap.cushwake.com 03-3596-7096

〒100-6113 東京都千代田区永田町 2-11-1 山王パークタワー13F

■クッシュマン・アンド・ウェイクフィールドについて

クッシュマン・アンド・ウェイクフィールド(C&W)は 1917 年ニューヨークで創業した、非上場企業としては世界最大の総合不動産サービス会社です。全世界 60 カ国に 253 の拠点、15,000 名以上のプロフェッショナルを配置しています。ホテル・観光セクターに関して C&W がご提供している総合的な不動産サービスはこちらをご覧ください。

<http://www.cushmanwakefield.jp/ja-jp/services/va-hospitality/>

英文レポート本文はこちらからダウンロードできます。(約 7MB あります。)

<http://www.cushmanwakefield.sg/en-gb/research-and-insight/2013/hotel-views-2014-asia-pacific/>

■免責事項 本資料は情報提供のみを目的としており、投資の勧誘を目的としたものではありません。